



～自分で考え 友達と一緒に活動し 振り返りのできる子～

学校だより 6月

令和4年5月31日

荒川区立

峡田小学校

校長 津田 利枝

「自分で考える子」の育成

副校長 執行 和弘

新年度が始まって2ヶ月。児童は感染防止に努めながら、毎日を元気いっぱい過ごしています。

さて、峡田小学校の教育目標は「自分で考え 友達と一緒に活動し 振り返りのできる子」の育成です。この目標を達成するために、全教育活動において、様々な取組を行っています。先日の放送朝会では、その中で「友達と一緒に活動できる子」の育成について以下の順に話しました。

「あいさつ」を積み重ねる⇒相手を思いやることのできる「やさしい子」になる

⇒相手の気持ちを考えながら活動でき、「友達と一緒に活動できる子」になる

今回は、「自分で考える子」の育成を図るためにどのような取組を行っているかについて話します。

峡田小学校では「児童の自発的、自治的、自主的な活動の充実」を特色ある教育活動のひとつに位置付けています。例えば、クラブ活動は、毎年、発起人が集まり、自分で考えたクラブを設立するためにポスターや放送等の宣伝活動を行います。最終的には児童のアンケート調査で、一定数以上の人数が集まった場合、クラブとして認められ、1年間の活動が始まります。また、学級会では、当日の会の進行をすべて児童のみで行います。担任は会の前日までに司会グループと当日の流れについて確認し、当日は可能な限り発言しません。この繰り返しにより、児童は会をどのように進めればよいかや、どうすれば物事を決定できるかなどを経験し、体得していきます。高学年の学級会は「これこそ自治的、自主的な活動」だと感心させられます。その他にも「児童一人一人が自分の考えをもち、友達とその考えを共有する」授業を発達段階に合わせて、どの教科でも行っています。

ご家庭でも様々な場面で「自分で考える」ことがあることと思います。答えを教えてあげるとは簡単ですが、時には自分で考え、乗り越えさせる経験をお子さんにさせていただくとありがたいです。ご家庭と学校とが連携して、お子さんを「自分で考える子」に育てていきましょう。

※雨が多くなる季節になります。安全安心に登下校ができるよう、傘の点検や視野が狭くなると危険な箇所の確認等をお願いいたします。

令和4年度 学校評議員の皆様です。1年間どうぞよろしく願いいたします。

荒川西部町会連合会長 大西町会会長 桶谷 輝明 様

荒川三丁目中央町会会長 久米原 良之 様

青少年育成荒川地区委員会副会長 坂 昇 様

青少年育成荒川地区委員会副会長 松尾 真人 様

本校第5代PTA会長 五十嵐 孝之 様

荒川なかまち通り商店会会長 万年 克介 様

主任児童委員 湯本 志津枝 様

花の木ひろば館館長 山内 朋子 様